

開 講 学 科	システム生体工学科	前橋工科大学 シラバス			
科 目 名	実用化技術Ⅱ	標準対象年次	選択／必修	科目コード	
		3 年次	選択	16004801	
担当教員	大高和裕	単位数	学 期	曜 日	時 限
		2 単位	後期	金曜日	4 時限
授 業 の 教 育 目的・目標	社会人基礎力の本論を学習し、且つ技術経営論(MOT 論)のベーシックレベル(後半パート)を学習することで、将来の所属組織で活躍が期待できる工科系大学生(未来技術者)を育成します。				
学科の学習・教育 目標との関係	「技術開発」と「技術者の役割と成長」を深掘りすることで、ビジネス活動の醍醐味を早い段階で認識できます。学習する過程で、「ロジカルプレゼンテーション」、さらに「ロジカルコミュニケーション」の基本スキルの深まりにより、「社会人基礎力の把握と発展」、「就職活動への対応」、「社会での活躍」の理解と認識に役立たせます。				
キーワード	① 社会人基礎力 ② 就業力 ③ 就職力 ④ 技術経営(MOT : Management of Technology)				
授業の概要	「実用化技術Ⅰ」の学習に基づき、「目標を持つことの重要性」、「コミュニケーションスキルの重要性」、「最もベーシックな MOT 論概論」を理解していただきます。 本講義では、これらの基礎学習領域を学ぶことで「早期から自己の将来計画(キャリアデザイン)」を考えていける人材、つまりは卒業後に社会に通用する人材に向かって、自ら踏み出す心(意欲)を形成します。				
授業の計画	第 1 回 :	オリエンテーション、学習の期待効果に対する質疑			
	第 2 回 :	技術者倫理の醸成と意義			
	第 3 回 :	現実ビジネスにおける課題解決の事例研究			
	第 4 回 :	ロジカルシンキングの活用研究			
	第 5 回 :	技術経営(MOT)の有効性			
	第 6 回 :	ビジネス戦略論			
	第 7 回 :	プレゼンテーションスキルの習熟			
	第 8 回 :	中間時点のまとめ、ゼミ学習中間成果発表			
	第 9 回 :	コミュニケーションスキルの習熟			
	第 10 回 :	企業会計・企業財務の根本的な醍醐味			
	第 11 回 :	ビジネスマーケティング戦略概論			
	第 12 回 :	技術の歴史とテクノロジーマーケティング概論			
	第 13 回 :	組織戦略や人材戦略の意義			
	第 14 回 :	キャリアデザインの基本設計			
	第 15 回 :	全講義の総まとめ、学習成果発表、期末試験(期末レポート)準備			
受講条件・関連 科目	「実用化技術Ⅰ」の修了者対象です。日頃から新聞/テレビ/ラジオ/ネットの国内外の政治やビジネスのニュース報道に親しみ、時代のトレンドに興味を抱いていることを強く期待します。				
授業方法	①講義は毎週金曜日の4時限です。 ②MBA 大学院スタイルのディスカッションゼミ学習方式を採用入れます。 全員が「他の人の意見を傾聴して理解・編集したのちに発言するセンス」を身につけます。				
テキスト・参考書	講義要点シートとケース研究のシートは担当教員オリジナルのものを使用します。 参考書として「テクノロジーマネジメント」(総合法令出版刊：基本要素が簡潔に編集されていて且つ安価)を持っておられると講義の内容把握に役立ちます。				
成績評価	・ 期末試験 (40%) ・ 課題レポート (3回：30%) ・ 小テスト (やりません。0%) ・ その他 (講義における発言発表、ゼミ推進への貢献) (30%)				
履修上の注意	導入部分とその応用部分は授業で学習します。その間に位置する基本部分(核となる部分)は無理のない予習に努めていただきます。講義終了時に十分な理解ができる状態を目差すためです。 間近に迫った本格的な就職活動に役立つヒントが豊富に得られます。				
	メールでご意見やご質問に対応します。 大高HO [k-ohtaka@k09.itscom.net]				